

“低線量放射線によるホルミシス効果の実態”

ホルミシス医療の線量基準

ホルミシス臨床研究会の資料より

地上自然界 約 $0.1 \mu\text{Sv/h}$ 宇宙：大量（地上の 100 倍）
健康目的 $9 \mu\text{Sv/h}$ 以下
治療目的 $10 \sim 100 \mu\text{Sv/h}$ (参考)Dr. セラ・イオン：パット大 $35.69 \mu\text{Sv/h}$

低線量放射線は抗酸化作用があるから 活性酸素を抑制する効果があるのです！

活性酸素：体内的細胞内でブドウ糖を燃焼させてエネルギーを得る際に必ず生成される。
体内に侵入してきた細菌等を排除する。しかし過剰な場合は万病の原因
体を酸化させ、動脈硬化等を引き起こし生活習慣病・老化を招く。

抗酸化作用：活性酸素を抑える作用のこと。

健康・病気の治療効果の実績・予測

【細胞内で起こること】

治療の実績

- 慢性リウマチ
- 脊椎炎・腰痛
- 神経痛
- 関節炎
- 哮息
- 花粉症
- アトピー性皮膚炎
- アレルギー性皮膚炎

効果予測

- ガン再発防止・ガン治療向上
- 糖尿病
- 各種肝炎
- アルツハイマー病
- パーキンソン病
- 筋萎縮症
- 老人性痴呆進行防止
- 膜原病

低線量放射線が細胞に照射される

細胞内の水がイオン化

活性酸素が瞬間的に大発生

抗酸化酵素をつくる遺伝子のスイッチが入る

抗酸化酵素が徐々に発生して活性酸素を除去する

健康になり元気いっぱい！

低線量放射線による癌治療

抗がん剤と並行して治療することで効果大。
低線量全身照射と局所照射の組み合わせをすることで効果大。

病気の原因の 90% は過剰に生産された活性酸素である（残り 10% は細菌）

癌……………健全な細胞を酸化させ、細胞核にある DNA（遺伝子）も損傷させる。
動脈硬化・脳卒中・心臓病……コレストロール・中性脂肪を酸化させ、悪玉コレステロール・過酸化脂質に変化させ、それが血管に付着して血管の弾力を奪い、血管を塞ぐ。
糖尿病……………膵臓でインスリンを分泌するベータ細胞を破壊して発症させる。
アトピー等（免疫疾患）……免疫細胞の活動を鈍くし、免疫バランスを崩す。

老化の犯人は活性酸素です！

例えば戸外で紫外線を浴びると、皮膚に活性酸素が発生して、肌の主成分であるコラーゲンが変質し皮膚細胞の弾力が無くなる（シワ）。つまり、抗酸化作用によりホルミシス効果は、美容にも効果があるのです。

一般社団法人 ホルミシス臨床研究会 賛助会員
有限会社アマリ精工